

本契約により当社がCellistic社に対して支払う製造開発に必要な費用は、現在発行している第17回乃至第19回新株予約権により調達中の資金を充当する予定です。また、本件による今期の業績への影響は軽微です。

以上

BrightPath社について

ブライトパスは、従来の標準的な治療法では治療できない難治性・進行性のがんに対して、がん治療に変革をもたらす新規がん免疫療法の開発に注力する臨床段階のバイオ医薬品企業です。ブライトパスは、現在臨床試験中の細胞療法、免疫調節抗体、がん特異的新抗原を標的とした新薬の開発に積極的に取り組んでいます。詳細については、www.brightpathbio.comをご覧ください。

Cellistic®について

Cellistic社は、Pulse®およびEcho®プラットフォームを用いて、ヒト人工多能性幹細胞（iPSC）技術に基づく免疫細胞療法のプロセス開発および製造に特化しています。iPS細胞の初期化、独自のSTAR-CRISPR™技術を用いた遺伝子編集、分化誘導の開発に注力し、専門知識を有する同社は、革新的な細胞医薬の開発を目指す企業の研究開発製造のパートナーとして選ばれる存在です。Cellistic社は、10年以上にわたる科学的・技術的知識と経験を生かし、iPS細胞を用いた細胞治療のための独自の製造プラットフォームの設計と最適化のための他に類をみない能力を有しています。

詳細については、<https://www.cellistic.com> をご覧ください。

用語解説

*1 （BCMA（B Cell Maturation Antigen：B細胞成熟抗原））

抗体を産生する免疫細胞であるB細胞の発生や自己免疫応答に関係し、多発性骨髄腫などの血液がんの患者のB細胞に高発現していることが報告されている。

*2 （CAR-iPSNKT細胞（キメラ抗原受容体遺伝子導入 iPS-NKT 細胞））

NKT細胞は、ナチュラル・キラー（NK）とT細胞の中間にあってそれぞれの一部の性質を併せもつ細胞で、前者が自然免疫を担う細胞、後者が獲得免疫を担う細胞（がんの目印を学習してがん細胞を攻撃する細胞）の橋渡しをする。NKT細胞は、直接的・間接的にがん細胞を殺傷する多種多様な抗腫瘍効果を持つが、通常ヒトのリンパ球の1%に満たない数しか存在しないため、iPS細胞へといったん初期化し、iPS細胞の段階で増殖させ、NKT細胞へと再分化させたものがiPS-NKT細胞である。これに、がん種によって異なるがんの目印（がん抗原）を認識するセンサーの役割をもつ受容体を人工的に作製し（キメラ抗原受容体）導入したものがCAR-iPSNKT細胞である。

【問い合わせ先】

ブライトパス・バイオ株式会社 管理部

E-mail: irpr@brightpathbio.com

<https://www.brightpathbio.com>